

2022年5月

植物画について

1. 季節の写真



写真はチューリップです。

チューリップはユリ科チューリップ属の球根植物で、非常に多種多様な品種が作られています。新潟県と富山県の県花に制定されています。

2. 植物画について

絵画として、「植物画 (ボタニカル・アート)」というジャンルがあります。植物画は、植物の精密画であり、写真のない時代に、植物の正確な形態を知る資料としての役割がありました。特に18～19世紀頃にはヨーロッパで植物画が盛んに描かれ、植物画を載せた図版も多数出版されました。

植物画は、古くから植物学、医学・薬学等の学問分野での研究に活用されてきました。

そして、園芸分野で新しい品種の開発を行う場合にも、もちろん大いに役立ってきたことでしょう。

上記のような背景から、植物画を描く際は、基本的に（１）１画面に１種類の植物を描く、（２）実物大の大きさに描く、（３）背景や鉢といった植物以外のものは描かない、などの決まりがあります。

また、植物画の特徴として、科学的な価値を有するとともに、芸術的な美しさも併せ持っているということがあります。

植物を絵画として描くとき、生物として日々その姿が変化していく中での一瞬の姿を切り取ったものになります。人間の眼を介し、人間の美的感覚のフィルターを通じて現れた姿となることで、写真にはない独特な美しさが備わるように思われます。

以 上